

空知

SORACHI

歯～とふるフェスティバル
日時:平成28年10月30日(日) 午前11時より

場所:芦別市青年センター
本年度は趣向と場所を変更し、芦別市にて標記フェスティバルが開催された。
市民の口腔の健康増進に寄与するため、受付をされた方にペーパーラフト口模型を配布後、歯科検診を受けていただき、現在の口腔状況を口模型を使ってわかりやすく説明した。

お子さんには歯医者体験をしてみらい、白衣、マスク、グローブ着用の上、保護者の口をのぞき込んでもらい、印象材や石膏にも触れていただいた。キリトール綿あめコーナーには列もでき、ちょっと複雑な顔をしながも美味しく味わっているよだった。このほか、家族そろっての歯磨き指導や北海道の小中学校で行われているフッ化物洗口を経験していただき、

お口への関心をさらに高めていただけるよう工夫を凝らした催しとなり、風も強く気温の低いなか、浜山の市民が足を運んでくださる行事となった。



日高

HIDAKA

図画・ポスターの展示
展示期間:平成28年11月6日(日)～13日(日)
展示会場:浦河町 ショッピングセンターMio
新冠町・L・コド館
日高町 マックスバリュ富川店
管内小学生に募集した「歯・口に関する図画ポスターコン

クール」日高大会入選者の図画・ポスターを上記3会場で行った日「のイベントとして展示した。あわせて入選作品を利用した月めくりと一枚のポスターにした口腔疾患予防啓発カレンダーを作成し、好評であった。(渡川博明記)



地区別社保勉強会
新ひだか、新冠地区

日時:平成28年11月8日(火)午後7時から午後8時30分
場所:ピュア2階 会議室(新ひだか町) 参加者:6名
三石、浦河、様似、えりも地区
日時:平成28年11月10日(木)午後7時から午後8時30分
場所:浦河イン(浦河町) 参加者:7名
門別、富川、日高地区
日時:平成28年11月15日(火)午後7時から午後8時30分
場所:富川シティーホテル(日高町) 参加者:6名
講師:舟木理一郎 理事、青山哲也 理事
3地区での社保勉強会を開催した。今年度の改定で取扱い

の大きくなったものの確認や摘要欄に記載もれのため返戻・査定が多い事例の解説と注意事項、さらに基本的な算定要件の確認等を中心に説明した。その他、歯科訪問診療科の注13に規定する基準の届出をまだしていない会員に注意喚起し、平日の診療後だったが、少人数での会員からも活発な質問などもあり、あっという間の約1時間だった。(青山哲也記)



美唄

BIBAI

市立美唄病院ワンコイン健診開始
平成28年12月より、市立美唄病院では「プチ健診」と称し、税込500円のワンコイン健診が開始された。
歯周病と関連性がいわれる血糖値並びにHbA1cの検査が、特

に私共の日常診療に役立つのである。その他コレステロール、肝臓、腎臓等に關する検査項目のほか、痛風、尿酸なども。
検尿では、ピロリ菌感染の有無を1,000円で、前立腺がんの相関が高いと言われるPSA検査は1,500円と気軽にかかるシステムが導入された。
歯科材料連携の取っかかりには、気軽に取り組みやすいシステムであると共に、一市民としても自治体国保や歯科国保とも

さらにデ・タ交換され早期発見、予防管理等、きめ細かく活用する等今後が多いに期待される。(小森英世記)
第82回三師会講演会
日時:平成28年11月15日(火)午後1時から午後2時
場所:市民ふれあいサロン
標記講演会が開催された。これは、市民向けの取り組みとして三師会が実施している催しのひとつで、三師会が持ち回り講演会や健康相談などを行う。

会場は市内中心部のショッピングセンターの一室、そのため来場者の年齢はさまざま。今回は歯科医師会の担当です。私は矯正歯科学について、とくに不正咬合の原因や治療を受ける際の注意事項などを話した。
質疑では歯並び、萌出の程度についての質問やマルチブラケット治療を受ける予定の家族に対し、医院選びはどうしたらよいのかなど具体的な質問を受けた。(工藤泰裕記)



十勝

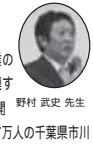
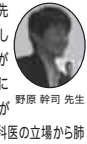
TOKACHI

十勝歯科医師会麻球会麻雀会
日時:平成28年10月22日(土) 午後3時より
場所:ふくいホテル
平成28年度第2回十勝球会麻雀会
宿を帯田の街中のふくいホテルで行った。午後3時に集まった戦士達は、慣れない手積みにも苦戦苦闘し、たまたまテレビで流れていた日本シリーズの様子を気にしつつ、麻雀の音を気にしつつ、夜遅くまでジャラジャラ。村松晋先生は国士無双の13面待ちを上がり、得意満面の顔。来年は年を考えて電動卓の方が良いかなと思いつきながら、和気藹々と楽しい一時を過ごすことができた。(西藤憲生記)

「いい歯の日」市民健口講座
日時:平成28年11月12日(土) 午後1時30分より
場所:十勝歯科医師会館講堂
第1部 演題:食医のススメ-最後まで口から食事を楽しむために
講師:大阪大学歯学部顎口腔機能治療学 准教授 野原幹司先生
第2部 演題:肺炎:最近の診療の実際
講師:帯広厚生病院 副院長 山本 真先生
主催:一社十勝歯科医師会
共催:帯広市、北海道歯科衛生士会十勝支部
後援:一社 帯広市医師会、一社 十勝医師会、北海道帯広保健所、北海道 技工士会十勝支部、北海道教育庁十勝教育局、十勝毎日新聞社、北海道新聞帯広支社
「第32回いい歯の日週間」にちなんだイベントとして、標記の

市民健口講座が開催された。第一部は野原先生から「感染源としての口腔」「嚥下器官としての口腔」についてユーモアに富んだお話しがあったなかでも肺炎予防の為、食塊形成の為に口腔ケアが重要であることを動画を見ながら強調された。第二部は山本先生に呼吸器内科医の立場から肺炎の基礎と臨床についてわかりやすく解説して頂いた。山本先生も肺炎予防における口腔ケアの重要性についてデータを示しながら話された。会場からの質問のほか、終了後に直接講師に質問する参加者もあって盛況に終了となった。(小西隆司記)
「歯・口腔に関わる在宅療養支援サポート研修会」
日時:平成28年11月19日(土) 午後2時30～午後5時30分
場所:十勝歯科医師会館講堂
演題:「東京医科大学川総合病院における地域包括ケアの取り組み」

講師:東京医科大学オーラルメデシン・口腔科学講座教授 野村武史先生
十勝圏域在宅歯科医療連携整備事業の一環として、在宅医療と高齢者医療に關する職種の方々を対象とした標記講演会が開催された。講師の野村先生からは人口約47万人の千葉県市川市の郊外に位置する東京医科大学川総合病院における病棟連携、病診連携の強化、急性期から回復期、回復期から慢性期へと切れ目ない医療の取り組みについてお話し頂いた。その中で、総合病院における歯科・口腔外科の取り組み、全身疾患と口腔の関わり、チーム医療、院外(入)の構院による逆紹介を通した病診連携の強化の重要性、さらには口腔がん検診の新たな戦略について具体的な例を示しながらわかりやすく解説して頂いた。(高藤恒夫記)



千歳

CHITOSE

平成28年度道央東ブロック役員連絡協議会
日時:平成28年11月12日(土) 午後4時より
場所:ANAクラウンプラザホテル千歳
出席者:
北海道歯科医師会から 藤田会長、高橋副会長、大西専務
日高歯科医師会から 西川会長、中本副会長、山口専務、谷本理事、青山理事
苫小牧歯科医師会から 加藤会長、牛丸副会長、八谷専務、木村理事、西森理事
千歳歯科医師会から 杉江会長、内海・真鍋副会長、水戸専務、小西・青山・高津理事

歯科衛生士・歯科技工士の確保に関する件
・苫小牧では高校に訪問し説明している
・補助金の活用
・東京の50%の診療所には衛生士は在籍していない
・北海道の衛生士学校は今年度356名/544名
ハイレベルは33名/40名
協議会後の懇親会は道歯会の会長をはじめ、他都市の役員の先生とも近い距離で話をする事ができた。
こういった機会にはそんなになく、貴重な場であったと思う。以前は四歯会ゴルフ(千歳・日高・苫小牧・室蘭)という、近隣の都歯との交流もあったが、今はなくなってから久しい。今後は近隣の都市歯会との連携もより重要になって来ると思う(高津良二記)
ファミリーパーティー
日時:平成28年11月26日(土) 午後5時30分より
場所:ANAクラウンプラザホテルにて、恒例のファミリー

3等賞 スロージャー等々...高価な商品がたかさんです。
今回はなかなかビンゴが出ない中、一番にビンゴした青山先生のご子息直樹君!!!数ある景品の中から直樹君「選んだ物は???なんと!!鮭の切り身!!!流石セレクトでしたー
楽しい時間もあっという間に過ぎていき、佐竹先生の締めめの乾杯により、ファミリーパーティーはお開きとなりました。今年も厚生部の先生方のおかげで楽しいパーティーが開催されたことに感謝いたします。お忙しいなかのご準備たいへんお疲れ様でした。(平山健記)
救急医療講演会
日時:平成28年11月29日(火) 午後7時より
場所:エニケンビル3階会議室にて
講師に札幌医科大学医学部麻酔科学講座の平田直之先生を迎え、「誰にでもわかる救急薬品の使い方」という演題で救急医療講演会が開催された。

また、高齢者の場合、さまざまな合併症を有しており、診療時に緊急的な処置が必要となる偶発症を生じる可能性があります。そんな時、基本となるのが蘇生のABCの評価で、それによって鑑別診断をして、酸素投与や救急車の要請、救急医療機関への連絡などが必要となる。また、診療室に備えてほしい機材として、AEDをあげられていた。致死的な合併症のなかで特に多いものは、心筋梗塞と不整脈で、心室細動の唯一の治療法が除細動(電気ショック)が理由のよう。
AEDがない場合、重要になってくるのが胸骨圧迫で、意識がなく、呼吸がこたしい場合は、躊躇せず胸骨圧迫を開始してほしいとのこと。
最後に、心筋蘇生や窒息の解除法は、定期的に講習などを受講し、スキルを復習しておくように、患者の急変にも対処できるようにしてほしいと仰っていた。(平山健記)
救急医療講演会
日時:平成28年11月18日(金)
場所:長庭町 刺身一番



内容として

- 1 中央情勢報告
 - ・会員第一義の評価される会務運営
 - ・会長選挙副会長による選出から正会員による会長予備選挙の形をとる
 - ・一般会員にも代議員会で発言できるシステムを作る
 - ・女性会員へのサポート事業
 - ・未入会率: 全国平均 13.5%、札幌地区 17.0%、千歳地区 19.2%
 - ・受診率の向上: 成人歯科健診の法制化の要望
- 2 道歯企画報告
 - ・保険の見直しについて
- 3 協議事項
 - ・防災関連に関する件
 - ・近隣の都市歯会との連携が欠かさない
 - ・訪問歯科診療に関する件 体制づくりの必要性
 - ・公益目的支出計画の進捗状況に関する件

今年も77名の会員、家族の方々も参加されたパーティーが開催された。
杉江会長のご挨拶、渡邊先生の乾杯でパーティーの始まりです。
今年は、楽しみにしていたバンド演奏は残念ながらありませんでしたが、オバマ大統領やクリントンさんが出演するビデオメッセージが流れ、「クイズ王決定戦」が始まりました。井口先生、須貝先生の進行により、かなりリアクション問題が出され、2016年度千歳歯科医師会のクイズ王が決定した。その方は!!!わかつき先生です!!!むずかしいクイズに見事全問正解されて、とても素晴らしいです!残念ながら私は1問目で脱落だった。
そして、みなさんお待ちかねのビンゴ大会です!今年の景品は!!!1等賞 ダイソン掃除機、2等賞 サーキュレーター、

内容は、歯科治療において起こりうる偶発症のなかで、頻度の高いものとして、「迷走神経反射」。「過換気候群」、「アレルギー、アナフィラキシーショック」、「誤嚥、窒息」をあげられ、このなかで薬剤投与が必要になってくるものは、迷走神経反射とアナフィラキシーショックで、投与方法としては、静注、皮下注、筋注があるが、筋注ができれば大丈夫とのアドバイスをいただいた。(迷走神経反射には硫酸アトロピン、アナフィラキシーショックにはアドレナリン)
また、誤嚥、窒息については、背部叩打法や腹部突き上げ法のやり方について説明していただき、せひ身に付けて、万が一の時は実践してほしいとのことだった。



千歳野球部総会が行われ、新入部員の佐竹将宏 先生、玉川先生の挨拶があった。お二人も学生時代のスポーツ経験も長かつたので、千歳野球部の貴重な戦力になっていただけたはず。
来年の野球大会は千歳大会ということもあり、ユニフォームを一新することやチームの構成などの話題で終始話が弾んでいた。
千歳大会の成功のためにさらに一致団結できた総会となった。(清水将樹記)